

文部科学省特別選定
少年・青年・成人・家庭向け

存在を否定され、死ぬ自由を突き付けられ、
それでもなお地域社会に分け入っていく勇敢な呼吸器ユーザーたち。
今までこんな風に見たことはなかった。
存在理由を獲得していく彼らの姿が遅しく眩しく映っていた。
世界を救うヒーロー・ヒロインに見えてきた。
川口有美子 【作家・日本 ALS 協会理事】

「出来ないことがたくさんある中で、
障害者が出来る大きい仕事ってというのは、
外に出て人目について、
人の意識の中に障害者の存在を
ちよっとでも根付かせていくこと」

人工呼吸器は、呼吸を助ける道具です。
そこから吹いてくる風が、人と人とをめぐり合わせてくれます。

風は生きよという

追い風は、ときどき前からふいてくる。

もしもあなたが、病気や障害のために身体を動かさなくなったとしたら、どんな人生を想像しますか？

映画が映し出したのは、ふつうの街でふつうの生活を送る人びと。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。淡々とその生活を映し出し、歩んできた人生を見つめた時、浮かんできたのは日常の尊さ。たくさんの支援が必要だからこそ、多くの人に会え、自由に動くことができないからこそ、生きてあることに感動する。じんわりとところを揺する、人と人が織りなす物語。

もしもあなたに、思うように身体を動かさない、そんな日が来た時は思い出してほしいのです。映画の中を駆け抜けていた、風の音を。その風に包まれた人と人が、支えあひながら生きていたことを。



【お問合せ】「風は生きよという」上映実行委員会
〒192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-11 シルクヒルズ大塚 1F (全国自立生活センター協議会内)
TEL:042-660-7747 FAX:042-660-7746 Mail:kazewaikiyotoiu@gmail.com
2015年/日本/81分/ドキュメンタリー www.kazewaikiyotoiu.jp

【人工呼吸器とは?】

障害や病気により、肺を動かす筋力が弱い人たちの呼吸を補助する医療機器です。様々な種類があり、かかりつけの病院からレンタルされています。呼吸の回数や量、リズムなどを細かく設定することで自分に合った呼吸ができます。



主催団体

「NPO 法人 W・I・N・G 一路をはこぶ」

～the Way Into the New Generation! W・I・N・G!～

重症心身障害者をはじめとする障害者が、自由に行きたい場所へ行き、生きたいように生き、地域社会のなかで自立・自律した生活をする。そのような生活が可能となる時代・世代の創造に貢献する。その方法とは何か、道のりとは何か。私たちは、理想を失わず、かつ理想に溺れず、常に現実を見つめ、その道程を求めて活動を続けます。

